



# ADRC Highlights

Vol.48

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

June 3, 2002

## ➤ キルギスタンにて国際緊急対応ワークショップ開催



キルギス共和国政府とアメリカモンタナ州の共催で、5月20日から23日の4日間、天山山脈の麓、キルギスタンのビシュケク市において世界22カ国から300人の緊急対応のプロフェッショナルが集

い、国際緊急対応ワークショップが開催されました。

(ワークショップの内容)

- (1) キルギス政府、ロシア政府、アメリカ政府、FEMA 等各国・各組織代表によるプレゼンテーション
- (2) 4グループによる討議

<テーマ>

- 「緊急事態を防ぐための対策の立案」
- 「地震のモニタリングと発生後の経過予想」
- 「地震時の建造物並びに通信機関の安定性評価」
- 「大震災時の国際人道援助」

- (3) 防災訓練視察

災害の緊急対応ワークショップとしては最大規模の会議で、各国の参加者により活発な議論が交わされました。アジア防災センターからも出席し、センターの役割や阪神・淡路大震災の教訓などについてのプレゼンテーションを行いました。

また、センター職員がキルギスタンの Eshmambetov 環境・緊急対応大臣を表敬訪問し、大臣からアジア防災センターのメンバー国加盟の意向が表明されました。



(主任研究員 吉村文章, 荒木正徳)

## ➤ JICA 兵庫国際センター開設

国際協力事業団 (JICA) の新しい研修拠点となる「JICA 兵庫国際センター」が神戸市の東部新都心地域内に4月12日開設されました。このセンターの前身である「兵庫国際センター (昭和48年開設、神戸市須磨区)」では、これまでに貿易実務や医療技術、環境保全など多岐に渡る研修コースを実施し、124カ国から約2,500名の研修員を受け入れてきました。

「JICA 兵庫国際センター」では、阪神・淡路大震災の教訓を活かし、隣接するアジア防災センターや国連人道問題調整事務所、国連地域開発センター、人と防災未来センターなどの防災関係機関との密接な連携の下、防災対策やまちづくりの分野での研修をはじめとする国際協力事業も一層推進することとしており、また、市民が気軽に利用でき、親しまれる「国際協力・交流の場」となることを目指しています。



<施設概要>

- ・敷地面積 約3,760㎡ / 延床面積 約9,670㎡
- ・建物規模 地上13階
- 1～4階 事務室、研修・福利厚生施設
- 5～13階 研修員宿泊施設 (シングル92室、ツイン4室)

<URL> <http://www.jica.go.jp/branch/hic>

## ➤ 新刊出版物の案内:「世界災害報告2002」

世界災害報告2002では、災害リスクの軽減がテーマとなっています。災害の損害軽減において、防災と災害への備えがいかに重要な役割を果たすのか? 国際的な災害対応を地域の災害対応にうまく統合させるには? もっとも緊急な課題として、防災対策と災害への備えが、生命・人々の暮らし・財産を守ることいかに効果を発揮するのか?

報告では、災害への備えの理論的説明、島嶼国家に対して地球温暖化が与える影響をいかに軽減するか、都市部での地震による災害リスクをどのように減少させるのかを検証しています。また、モザンビークと南米のコミュニティにおいて、十分な備えを行うことによって災害の被害総額を軽減してきた成功例について紹介しています。さらに、毎年更新される災害データに加え、人道的なアカウンタビリティに関する研究、脆弱性とキャパシティ評価のための方法論などを取り上げています。

ISBN 92-9139-082-8, 2002年6月、240ページ、25米ドル

出版者: 国際赤十字・赤新月社連盟

さらに詳しいことは、E-mail: [wdr@ifrc.org](mailto:wdr@ifrc.org) まで

## ➤ アジアにおける最新災害情報

### □ インド南部で熱波

2002年の5月上旬、ベンガル湾沿いの地域で気温が45度まで急上昇しました。インド南部のAndhra Pradesh州では、熱波によって600人以上が亡くなったと州政府は発表しています。今年の5月は、インド南部において、例年よりも早く北西部の砂漠から乾燥した風が吹きつけ、異常に気温が上昇しています。

(5/18 CNN ニュースなど)

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル3F

E-mail: [editor@adrc.or.jp](mailto:editor@adrc.or.jp) TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行 (予定)